

# 月刊 いっぽ

vol. 20

2017年11月号

denken

## 新着情報

今月号は教職員の「勤務時間」について文部科学省から発表された提言を紹介します。

- ① 業務改善を進めていく基礎として、適切な手段により管理職も含めた全ての教職員の勤務時間を把握すること。勤務時間管理は、労働法制上、校長や服務監督権者である教育委員会に求められている責務である。出退勤時刻の管理についてタイムカードや校務支援システム等を導入する学校が増加しているものの、文部科学省が実施した「教員勤務実態調査（平成28年度）（速報値）」によれば、教員の毎日の退勤時刻の管理について「タイムカードなどで退勤の時刻を記録している」と回答した学校は小学校で10.3%、中学校で13.3%、「校務支援システムなどICTを活用して退勤の時刻を記録している」と回答した学校は小学校で16.6%、中学校で13.3%にとどまっており、いまだ限定的である。こうした実態も踏まえ、服務監督権者である教育委員会は、自己申告方式ではなく、ICTやタイムカードなど勤務時間を客観的に把握し、集計するシステムが直ちに構築されるよう努めること。

●学校における働き方改革に係る緊急提言(文部科学省)

([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/\\_icsFiles/afieldfile/2017/09/04/1395249\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/_icsFiles/afieldfile/2017/09/04/1395249_1.pdf) P.2)を加工して作成

タイムカードやICTを活用して勤務時間の把握・集計できるようになったとしても、“出張”“休暇”は従来通りの手続きをしなければなりません。「いっぽ」ならシステム内で“出張”“休暇”の申請から承認まで行うことができ、より効率化が図れます。



## いしてるコーナー（ICT）

教育の現状と未来・人工知能が教育を変える？！

「人工知能（AI）による学習システム」

人工知能（AI）が私たちの社会に進出してくることはもはや不可逆的な流れです。そこで、教育とAIは今後どのように関わってくるのでしょうか？実際に海外では既にAIを導入した英語学習システムが開発されています。そのシステムを利用して英語を学習すると、システム内のAIが個人の傾向を学習しそれぞれに合ったプログラムを提供してくれるというもの。

人工知能が「あなた」に最適なプログラムを提供してくれる時代がくるかもしれませんね。

「予告」次号は関西 教育ITソリューションEXPO特集

## ★今日の一言★

「〇〇の秋」といえば??

先日、@ニフティニュースの調査結果で、「〇〇の秋といえば」ランキング1位「食欲」2位「紅葉」3位「実り」という記事がありました。総計で見ると、1位は「食欲」で66%、2位は「紅葉」で53%と、ここまでが過半数超え。3位は「実り」で37%、4位は同率で「読書」「行楽」の34%だったそうです。

みなさんの「秋」は何ですか??

私の秋はもちろん「スポーツの秋」です。p(^.^)q

11

月

日

（

直

大下

正徳